

市街地循環便（仮称）の周知・広報計画（案）

1. 計画の目的

平成 22 年 10 月に、現在の三次ウェブ号を再編し、市民の日常生活にとって一層利便性を増した市街地循環便（仮称）の運行を開始する。今後、このバスが三次市民に愛され、利用されるためには、運行サービス内容（ダイヤやルート等）を知ってもらうことだけでなく、「一度乗ってみたい」「市民で守ろう」といった気運・雰囲気づくりが重要といえる。

以上を踏まえ、市街地循環便の利用促進、かつ他の公共交通機関との相互利用促進を図るために、関連情報の周知・広報計画を立案する。

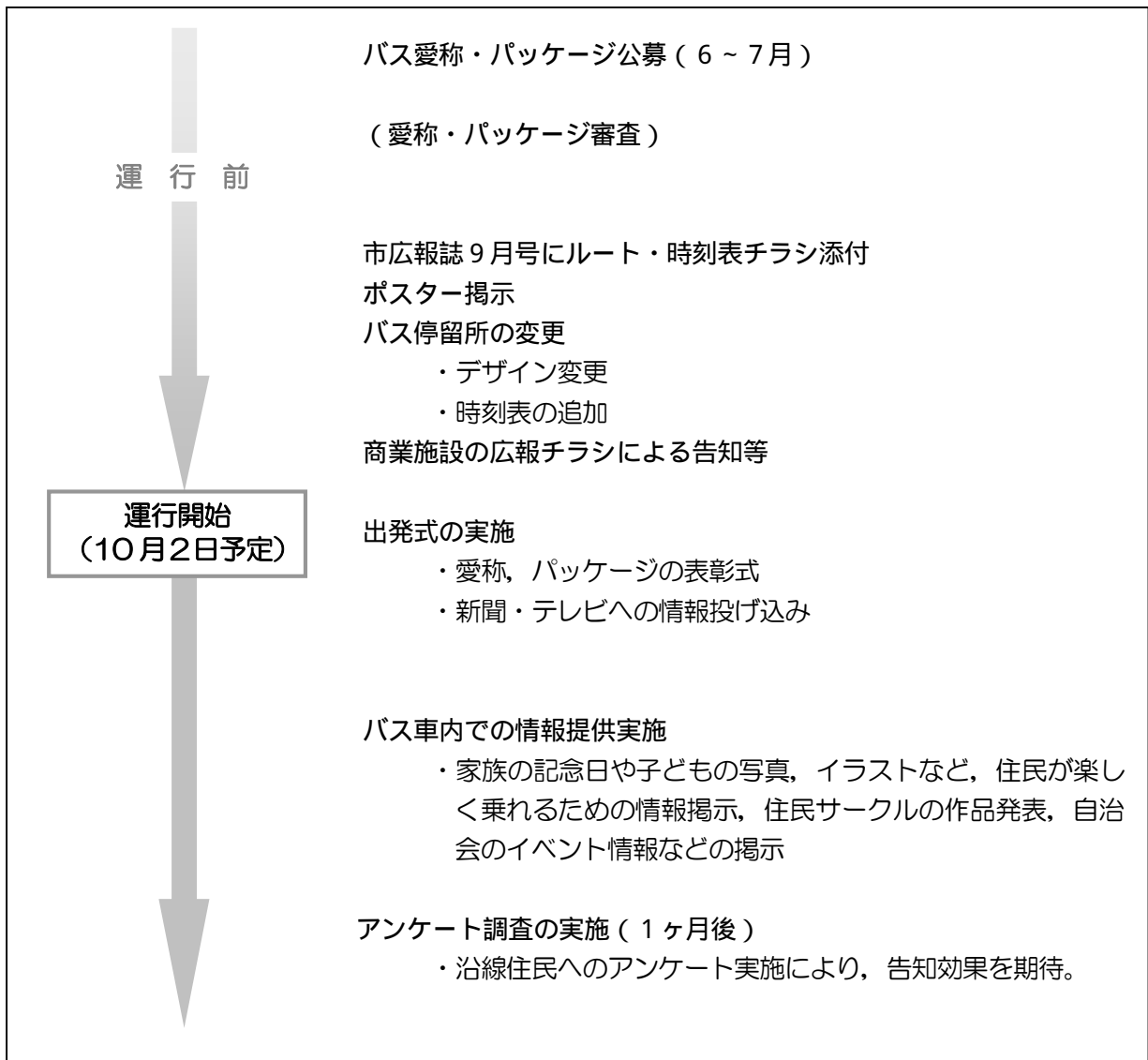
2. 周知・広報の種類（例）

一般的なコミュニティバス運行開始の周知・広報の方法、利用促進の方法の一例を以下に示す。

周知・ 広報	ポスター掲示	バス運行に合わせて、告知用ポスターを製作し、公共施設や生活施設（店舗等）に掲示する。
	チラシ・時刻表配布	バス運行に合わせて、時刻表や運行ルートを掲載したチラシを製作する。
	バス停留所の作成・更新	バス運行とあわせて、バス停留所を作成・デザイン更新する。バス停自体が、周辺住民に対する広告の役割を果たす。
	ホームページの活用	時刻表などバス運行に関する情報を、行政や運行事業者のホームページに掲載する。また公共交通情報を一括して取り扱うポータルサイトを開設するなど、インターネットを活用した情報提供を行う。情報更新が比較的容易で、また携帯電話の活用により必要な時にどこからでも情報取得が可能。
	市広報誌での情報提供	毎月発行する市の広報誌に、運行開始のバスに関連する情報を定期的に掲載する。運行開始時点からの利用者数等の情報、また利用者の声等を丁寧に発信することで、住民皆で公共交通を守る意識を醸成する。
	出発式の開催	運行開始時に出発式を実施。
	新聞、テレビ、CATV等の活用	出発式やイベント等の関連情報を、新聞やテレビ（地域情報ニュース）、CATV（情報番組）等を用いて広報する。 沿線商業施設の広報チラシ等に、バス運行に係る情報掲載を依頼する。
	バスマスクの設置	運行事業者の協力のもと、バスマスクを製作、設置する。
他の利用 促進(案)	バス車内の活用	バス車内への住民の興味が湧く情報の展示（例えば、子どもの写真や絵）、イベントに合わせた飾り付け等など、利用意欲を高める取り組みを実施。
	住民によるバス利用環境の整備	住民（小学生）主導でのバス停の清掃活動、花のプランターを飾る活動など。
	アナウンスの工夫	車内の案内（バス停や見どころ）を沿線小学校の児童が実施。
	体験乗車イベントの実施	イベント時の無料運行の実施、期間限定の無料チケット発行、期間限定で子ども無料など、利便性を体感してもらう機会を設ける。
	住民の利用意識を高める取り組み	ワークショップ形式による住民（児童）主導のバスマップづくりや、住民グループによる利用促進方策の検討・活動などを通じて、住民のバス利用意識を高める。（バスの応援団をつくる） クイズやスタンプラリーなどによる動機付け。
	（未来の自動車ユーザーである）子どもに必要性を教育する取り組み	学校の授業（総合学習や社会科など）と連携して、公共交通を教材とした、公共性の学習、バス利用方法の学習等を実施。さらに、保護者と一緒に受講するプログラム実施、また学習成果の保護者への発表会等を通じて、保護者のバス利用の意識醸成を促す。
	商業施設との連携	バスでの買物客の割引（エコショッピングの推奨）や記念品贈呈など、商業施設の協力のもとで施策を展開する。

3. 市街地循環便の周知・広報計画（案）

(1) 全体の流れ（案）



(2) 取り組みの概要（案）

バス愛称・パッケージ募集

- ・告知チラシ（広報誌に添付）、及び市ホームページにより、新しいバス車両の愛称及びパッケージの募集を実施。
- ・誰でも参加可能（市外居住者であっても可能）
- ・分科会の協議を経て、応募作品の中から、愛称及びデザインを決定する。

市広報誌 9月号にルート・時刻表チラシ添付

- ・運行前に発行される市広報誌「広報みよし9月号」に、運行開始を告知するチラシを挟み、各世帯に配布する。
- ・チラシには、ルート図や時刻表、運賃等の基本情報を掲載する。
- ・また時刻表は、バス車内や公共施設等でも入手できるようにする。

ポスター掲示

- ・告知ポスターを作成し、運行開始、主な走行ルートの周知を図る。
- ・B3サイズ程度を想定。
- ・ルート周辺に位置する公共施設や病院、商業施設への掲示を依頼する。（その際、直射日光があたる場所の掲示は色落ちが激しいため、可能であれば屋内等の掲示が望ましい）

バス停留所デザインの変更

- ・バス停留所を新設する際、市街地循環バスの停留所であることが一目で判明できるように、デザインを工夫する。
- ・既存バス停と併用する場合でも、統一したデザインの時刻表を新しく貼る等、出来る範囲で工夫を凝らす。

商業施設の広報チラシによる告知等

- ・沿線商業施設が発行する広報チラシ等に、バス運行に係る情報掲載を依頼。可能な場合は、掲載する。
- ・その他の媒体等についても、効果的・効率的と判断できるものがあれば活用を検討する。

出発式の実施

- ・運行開始日の当日（始発前）、市街地循環便の出発式を開催する。
- ・出発式は、市役所や三次駅前などで実施が想定される。（今後検討）
- ・出発式では、バスデザイン及び愛称の公募結果を発表し、表彰式を行う。
- ・出発式の告知を、事前に新聞やテレビに情報の投げ込みを行い、取材に来てもらう。

バス車内での情報提供実施

- ・運行開始後、バス車内の魅力を高める工夫を検討、実施する。
- ・例えば、バス車内の液晶板（運賃表）を活用して、住民から募集した「家族の記念日や伝言コメント」、「イラスト・写真」などを掲載するサービスや、自治会イベント情報の掲載、医療福祉関係の情報の掲載、住民サークルの作品発表などが想定できる。

アンケート調査の実施

- ・運行開始後、ある程度利用が定常化した時点（約1ヶ月後）で、沿線住民へのアンケート調査を実施する。
- ・調査票と一緒に時刻表等の情報を配布することで、告知効果が期待できる。
- ・バス利用者への調査も実施し、効果や改善点等を把握する。結果は、市広報等を通じて、市民に対して情報提供する。

・・・など